

教区通信

ふくおか

2024(令和6)年3月1日発行

Vol.142

発行
「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

-From tying bonds to great encounters-



▲ 親鸞聖人報恩講法要

P4~5 親鸞聖人報恩講法要

- P2 慶讃法要
- P3 第二回 重点プロジェクト研修会
- P6 第一回 重点プロジェクト研修会

- P7 法話「わけへだてない大慈悲」
- P8 たすけあい運動募金について
- P8 慶讃法要厳修について



親鸞聖人
御誕生850年
立教開宗
800年

親鸞聖人の説き示してくださった
浄土真宗の教えに出遇うことがなければ、
今の私はいずれ得なかつたという聖人への感謝と、
その教えに出遇えたことの喜びを込めて、
聖人のご誕生を祝い
「立教開宗」へ感謝する法要です

慶讃法要

きょうさんほうよう

落語会



林家 染二さん

落語家 林家 染二さん
滑稽噺・芝居噺・人情噺など幅広く
パワフルな高座でありながら、
そのどれもが人への優しさと温もり
にあふれ、幅広い客層を集めて
いる。龍谷大学の卒業生でもあり、
龍谷大学の特別講義へ出講もされ
ている。

ヴァイオリン・ピアニデュー
コンサート

ヴァイオリニスト 井石 弾さん
東京音楽大学にて研鑽を積んだ後、
関東を中心に様々な演奏活動を行う。
(佐賀教区巨瀬組報恩寺)



JION - 慈音 - メンバー

ピアニスト 野口 志保さん
声楽、コーラス伴奏を始め、介護予
防音楽療育講師としても活動中。



JION
- 慈音 -

2024年

3日間開催

5月9日(木) ▶ 11日(土)

🕒 13:00 ~ 17:00 (受付 12:30)

【会場】

本願寺福岡教堂 (福岡県福岡市中央区黒門3-2)

● 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください

アクセス：福岡市営地下鉄空港線「唐人町駅」下車 6番出口より徒歩4分
西鉄バス…唐人町バス停・黒門バス停より徒歩4分

タイムスケジュール

13:00 開会式	15:00 コンサート JION- 慈音 -
13:10 記念布教 特命布教使 山田教尚 師 (東海教区鈴鹿組存仁寺)	16:05 落語会 落語家 林家 染二さん
13:45 慶讃法要	17:00 閉会式

※3日間同じスケジュールです

本願寺福岡教堂

☎ 092-771-9081

(平日 9:00-17:00)

詳細は、HP をご覧いただくか
所属寺院へお尋ねください

<https://www.f-hongwanji.or.jp>

本願寺福岡教堂

検索



HP

の管理といったものでした。

特に今回の具体例としては、門徒さんからのお寺の会計情報の閲覧要請、墓地経営の永代使用料の返還をめぐるトラブル、住職の高齢化による運営の判断能力、門徒さんの個人情報クラウドでの管理といったものでした。



令和六年二月二日に寺院機能推進部主催による第二回重点プロジェクト研修会が福岡教堂にて開催されました。

講師は第一回の研修会から引き続き、弁護士 石渡一史さん、弁護士 井川原有香さん、テーマは「僧侶の実務を通して気をつけること」でした。

近年、組織にはコンプライアンスが求められ、その経営・管理には細心の注意が必要となっており、寺院も例外でなく、様々なトラブルが見受けられるようになっていきます。

「御同朋の社会をめざす運動」 (実践運動)

第二回 重点プロジェクト研修会

寺院機能推進部 副田 正士
(宗像組 浄徳寺)

どの具体例も多くの寺院にあてはまるもので、どういった点に注意しなければならぬかを法令を根拠として詳しく講義され、今後の寺院運営に役立つものでした。

質疑応答では納骨堂・墓地の契約についての質問が多く、参加者の関心の高さがうかがわれました。

最後に、トラブルを防ぐためにコンプライアンスを守りガバナンスを構築していくことが重要であるが、それ以前にしっかりとご門徒さんや地域の方々との意思疎通を普段から図っていくことが未然にトラブルを防ぐことに繋がるということでした。

コンプライアンスさえ守っていればトラブルは防げるということではなく、常にご門徒さんに寄り添い、地域の方の理解を得る努力をすることを前提とした寺院活動を心がけなければと感じました。

ホームページ・SNSもどうぞご覧ください

ホーム
ページ→



LINE→
(ID:100xlzmt)



You
Tube→



X (旧Twitter)→
(@f_hongwanji)



親鸞聖人報恩講法要

和 田 法 明

(御笠組 西福寺)

令和六年一月二十六・二十七・二十八日の三日間、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で規模を大幅に縮小して行いました親鸞聖人報恩講法要を四年ぶりに元の形で勤めさせていただきました。

報恩講法要とは、宗祖親鸞聖人のご遺徳をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に味あわせていただく法要です。

今回の法要の初日には「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」に制定されました「新制御本典作法(第一種)」を依用しました。この法要で勤めさせてい



ただ「正信念仏偈」の節は、大原声明において用いられた「十二礼(五念門)和讃譜」といわれる節をもとに、新たな採譜が施されています。

この「和讃譜」のお勤めは大衆唱和として親しみ易いお勤めとなっています。また、雅楽には本山に合わせて二弦(琴・琵琶)を取り入れました。雅楽に於ける二弦はリズム楽器とされ重要な役割を担っています。このため「福岡教区声明と雅楽の会」の会員の皆様

は、九月に大阪教区勤式指導員の高橋昭人師にご指導いただき二弦の習得に努められました。お陰様で「新制御本典作法」の法要は荘厳なる奏楽と丁重なるお勤めとなりました。法要にご出勤の皆様、ご参拝の皆様ありがとうございました。

また、報恩講法要



に合わせて最終日の午前中に帰敬式を行いました。

帰敬式とは、阿弥陀如来・親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、お念仏申す日暮らしを送ることを誓う、私たちにとって大切な儀式です。今回は六十六名の方に受式いただきました。このご縁を大切にされまして共にお念仏を喜ぶ人生を歩みましょう。

今年の報恩講法要より、三日間に依用いたします作法を変更しました。初日を「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」に制定された「新制御本典作法(第一種)」。二日目を親鸞聖人七百五十回大遠忌法要に制定された「宗祖讃仰作法(音楽法要)」。三日目を親鸞聖人七百回大遠忌法要に制定された「奉讃大師作法(第一種)」といたしました。それぞれの作法には特徴があります。

「奉讃大師作法(第一種)」は本願寺の伝統的声明をとりいれた作法、「宗祖讃仰作法(音楽法要)」は西洋音楽的要素を加味した作法、



法、「新制御本典

作法(第一種)」

は西洋音楽的要素と本願寺の伝統的声明を融合させた作法。この3つの作法をお勤めすることにより、伝統を重んじ新しきものを取り入れ次の五十年を見据えた作法だと感じています。

法要の定義に

「法要とは、仏祖を礼拝供養し、経

典を読誦し、仏徳を讃嘆して、報恩の至誠を表す行事をいう」

(「法要儀式規程」第一章第一条)

とありますように、法要に参拝いただき、皆様と共に仏徳を讃嘆し、報恩の至誠を表しましょう。



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

第一回 重点プロジェクト研修会

福岡教区寺院機能推進部副部長 末松 義成
(怡土組 真教寺)

令和五年十月二日(金) 十四時半より福岡教堂にて研修会が開催されました。

参加者は、部員五名を含め四十名でした。部会では、宗教法人としての意識の徹底及び事務能力の向上を図ることが必要と考え、今回のテーマは「宗教と人権」にしました。部長の渡邊慈海さんより「お寺もアップデートしなければならぬ」と挨拶があり、時代の変化対応の重要性を感じさせられた。

さて、ご講師に鴻和法律事務所の石渡一史弁護士、井川原香弁護士の二名をむかえて始まりました。

序章として「宗教と法」

近年における宗教と人権問題としてLGBTQやハラスメント・性感商法・献金勧誘行為などあり、寺院運営や宗教活動自体において人権を意識することが強く要請される。

第一章「寺院が関わる情報の性質・価値」

プライバシー権や個人情報、要配慮個人情報、寺院が関わる情報がある。これらは、人権保護・尊重の観点からも極めて重要な性質・

価値があるという意識づけが大切である。

第二章「寺院のもつべき意識」

法的観点より個人情報の取扱いは一般企業以上に厳重にしなければならないと強く述べてあり、過去帳や門徒名簿、寄付者名簿と守秘義務が求められる、漏えいすると刑法や民法上不法行為となる。

第三章「人権への配慮」

インターネットの発達、スマートフォンの普及により高度な情報社会となり、個人情報の意識は高まっている。安易な投稿については要注意で、個人情報やプライバシーの問題が生じないか、何らかの権利損害を引越す可能性がないか慎重に判断する必要がある。

第四章「さいごに」

宗教活動や寺院運営において情報の取扱いに適切な注意を払うことが人権を守ることにつながると結んでいただいた。

質疑応答も六名の方より過去帳の扱いや、寄付金の石碑、納骨堂の案内等たくさん質問があり、どれも関心の高さを感じさせられた。

閉会にあたり重点プロジェクトリーダーの副田正士さんより「人権を学ぶ上で法律からの見方で勉強になった」と挨拶があつた。

年内に第二回目の研修会も予定しており、さらなる学びを深めて行きたいと考えています。多くの参加をお願いします。



一	法
言	話

「わけへだてない大慈悲」

立花 慈友(鞍手組 法蓮寺)

メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手。そのニュースを見ていた私は何気なく三歳の息子に「大きくなったら大谷選手みたいにかっこよくなれたらいいね」と言葉をかけました。すると息子の返事が強い口調で返ってきました。「いやだ、ぼくはぼくだもん!」ドキッとしました。「誰とも比べずに僕をちゃんとみてよ!」と言われていたようでした。

思えば私は子どもに「頑張れ」「我慢しなさい」とよく言います。しかし、子どもと一緒に頑張って頑張ったり涙を流したりしたことがどれだけあっただろうか。子どもの気持ちに寄り添い抱きしめてあげることがどれだけあっただろうかと反省しました。自分勝手な思いばかりを優先してしまう私の本当の姿を知らされました。

同時に、これまでお聞かせいただいたきた、お慈悲の仏様とお敬いする阿弥陀様のお心がより一層ありがたく、もったいなく心に響いてきました。

『仏説観無量寿経』に

「仏心とは大慈悲これなり。無縁の慈をもつてもろもろの衆生を摂したまふ。」(『仏説観無量寿経』『註釈版聖典』一〇二頁)とお示しです。

「無縁の慈」とは、わけへだてない阿弥陀様の大いなるお慈悲のお心のことです。阿弥陀様は私のいのちを苦悩のいのちと見抜かれました。それゆえに、阿弥陀様は私のどんな苦しみも悲しみも、自らの苦しみ悲しみとしてくださり、同じ涙を流してください。仏様になつてくださいました。そのお心を大慈悲とお敬いします。「頑張れ」「我慢しなさい」と私に告げる仏様ではありません。どれほど親しい関係であったとしても、思いを重ね合わせる事ができない私に届き「苦しいな悲しいな」と私と共に生きてくださる仏様です。

だからこそ、この度の出来事は、私に相手の気持ちに寄り添うことの難しさと大切さを知らせる、ありがたいご縁となりました。阿弥陀様の大慈悲のお心を聞かせていただくお念仏のご縁をこれからも大切に過ごしていきたいと思えます。

2024 (令和6) 年1月1日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、石川・高岡・富山・国府・新潟教区から被害の報告が寄せられています。
 下記の通り、本願寺にて「たすけあい運動募金」が開始されましたので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

1. 募金の名称
 浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金 「令和6年能登半島地震 災害義援金」

2. 受付口座番号
 郵便振替 01000-4-69957 加入者名 たすけあい募金

銀行振込

銀行 ゆうちょ銀行 / 店名 一〇九 (イチゼロキュウ) 店
 番号 当座 0069957 / 名義 たすけあい募金

※通信欄に「能登地震」とご記入ください。住所、連絡先、領収書名のご記入をお願いします。
 ※インターネットバンキングにて振込の方には、入金確認後、住所、連絡先、領収書名義等について確認のご連絡をいたします。
 お預かりした募金は災害義援金として、被災地へお送りさせていただきます。

3. 受付期間
 2024 (令和6) 年1月5日 (金) から当分の間

4. 問い合わせ先
 浄土真宗本願寺派伝道本部 社会部<災害対策担当>
 TEL 075-371-5181 FAX 075-365-6199 /saigai-taisaku@hongwanji.or.jp

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要厳修について

①日 時 2024 (令和6) 年5月9日 (木) ~ 11日 (土)

②会 場 本願寺福岡教堂 礼拝堂

③日 程 13:00 記念布教
 13:45 慶讃法要
 15:00 慶讃行事
 17:00 終了

④特命布教使 山田 教尚 師 (東海教区鈴鹿組存仁寺)

⑤各組への参拝割当人数

9日 (木) 【230名】	志摩組 (23ヶ寺、23名)・御笠組 (18ヶ寺、36名)・嘉麻組 (28ヶ寺、28名) 東筑組 (33ヶ寺、33名)・三門南組 (13ヶ寺、13名)・下川東組 (10ヶ寺、10名) 那珂組 (29ヶ寺、87名)
10日 (金) 【229名】	怡土組 (21ヶ寺、42名)・早良組 (33ヶ寺、99名)・上下組 (15ヶ寺、15名) 夜須組 (23ヶ寺、23名)・柳川組 (20ヶ寺、20名)・西嘉穂組 (15ヶ寺、30名)
11日 (土) 【252名】	福岡組 (24ヶ寺、48名)・宗像組 (12ヶ寺、36名)・遠賀組 (20ヶ寺、40名) 三門北組 (10ヶ寺、10名)・八女組 (8ヶ寺、8名)・鞍手組 (36ヶ寺、72名) 粕屋組 (19ヶ寺、38名)

退職いたしました

高橋 唯帰
 (福岡教区 東筑組 妙心寺)

5年弱の間、お世話になりました。福岡教区東筑組妙心寺住職としてご法義繁盛・教区の発展に参画してまいります。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 高原 眞見
 〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
 電話:092(771)9081